



## 新しいC型肝炎の 治療について

問 稲城市保健センター ☎378-3421

C型肝炎はC型肝炎ウイルスの感染によって発症します。全国で約200万人が感染していると考えられており、感染に気付かないまま肝硬変、肝細胞癌になって初めて診断されることもあ

りますので、一度はC型肝炎の検査を受けることをおすすめします。

さて、C型肝炎ウイルスを駆除する治療はこれまで注射薬と内服薬の組み合わせで行われていましたが、年齢、様々な持病の影響等で治療が受けられない方がいたことも事実です。

しかし、昨年から注射薬を使用せず、内服薬のみで高率（90%以上）にC型肝炎ウイルスの駆除ができる治療が行えるようになりました。今年になってからも新薬が登場しています。

治療に使用する薬剤はC型肝炎ウイルスの型（1型、2型）によって異なりますが、

治療期間は12〜24週間と注射薬を使用した治療より短期間で、副作用も軽度とされており、高齢の方や持病のある方でも治療が受けられる可能性が拡がりました。しかし薬の価格が非常に高いので治療を受ける際には、医療費助成制度の利用をおすすめします。ただし、進行した肝硬変や肝細胞癌の存在する方は治療の適応になりません。また、薬の効かない薬剤耐性ウイルスの存在も明らかになってお

り注意が必要です。さらに高度の腎機能障害、透析中の方には使用ができない薬があります。加えて現在内服している薬との飲み合わせが問題になることもあります。

それぞれの薬の特徴を理解したうえで、注意点を守って治療を行えば、十分にC型肝炎ウイルスの駆除が期待できますので、安全、確実に治療を行うためにも主治医の先生とよく相談されたうえで治療を受けるようにしてください。

稲城市医師会 武藤 英知